

浅羽学園袋井市立浅羽北小学校学校だより

はばたけ

光と大地の子

2学期終業式の式辞より

校長 金原正巳

2学期がスタートした8月26日は、朝の気温が26度、最高気温は35度もありました。そして、2学期の終わりを迎えた今、朝の気温は5度くらい。昼間の最高気温は10度くらいです。気温の差がとても大きいですね。82日間という長い2学期でしたので、季節も大きく変化しました。しかし、こうして皆さんと、無事に2学期の終わりの日を迎えられることを、本当にうれしく思います。

さて、2学期の始業式で、皆さんに、次のようなことを呼び掛けました。「オリンピックの選手が観客がいなくても一生懸命に競技したように、皆さんもコロナに負けず、新しい生活様式を守りながら学習の課題に向かって一生懸命に取り組みましょう。また、みんなが安全で楽しく過ごせるためのアイデアを出し合いながら学校生活を送ってください。」でした。

さあ、どんな頑張りがあったでしょうか。3つの場面を写真で紹介します。

1枚目はこの写真です。

オンライン授業の様子です。2学期が始まってすぐにコロナ感染者が増えて、学校ではグループ活動や歌、楽器の演奏、遊びなどいろいろな活動ができなくなったり、昼休みを短くして早く帰ったりしました。学校が休みになっても勉強ができるようするために始めたのが、オンライン授業でした。11月の参観会も含めて4回ほど行いましたが、皆さんはしっかりと参加して、返事や意見を言ったり課題に答えて自分の考えをロイノートで送ったりして、「自ら学び続ける子」を実現しました。



2枚目はこの写真です。

2年生が1年生をおもちゃランドに招いた様子です。手作りのおもちゃやゲームの遊び方を丁寧に説明し、楽しく遊んでもらうような優しい声掛けができました。遊ばせてもらった1年生は、ここで学んだことを生かして、秋の木の実を使ったお店屋さん「フェスタ浅北」に幼稚園や保育園の年長さんを招いて、楽しませてあげることができました。「友達や自分を大切にする子」になりました。



3枚目はこの写真です。

「光と大地のつどい」の全校表現の様子です。さすが最上級生6年生。ブリッジの腰がとても高く上がっていてすばらしいですね。光と大地のつどいは、どの学年も、みなさんが、走ったり、投げたり、引っ張ったり、踊ったりしながら大切な体を鍛えることができました。コロナに負けないで「元気に生活する子」そのものでした。



ここでは紹介しきれないほど、たくさんのよい表れがありました。気づき・考え。実行することで大きく成長することができましたね。拍手を送ります。

さて、明日から冬休みが始まります。夏休み前と同じように、冬休みの様子を詠んだ小学生の俳句を紹介します。

「友達が サッカーするから 僕もやる」「北風や 友達みんな 走り出す」
寒さに負けずに、外でしっかりと体を動かしてくださいね。

「初雪は サンタがくれた プレゼント」「サンタさん たのんだものが ちがってた」
楽しみにしているクリスマスがありますね。皆さんには、どんなプレゼントが届くのでしょうか。

「寒空に きらきら光る 初日の出」「新年は お餅を食べて 初詣」
「初詣で 力をこめて 手をたたく」
新年を迎えます。初日の出や初詣ではどんな願い事をしますか。

「元旦は 朝からみんな 笑ってる」「お正月 今年もいこと 背くらべ」
お正月は、家族や親戚に人たちが集まってゆっくりと過ごすときですね。

「お年玉 光をあてて 目をこらす」
お年玉をもらう人もいるでしょう。使い方も考えましょうね。

「書き初めで 思いをこめた 筆の先」
学校では、決められた字をもう書いたと思いますが、自分の今年の思いを書いてみるといいですよ。

13日間の冬休みは楽しみがいっぱいですね。年末年始だからできる体験をいっぱいして、1月6日の3学期の始まりの日に、新年のめあてをもった皆さんと、また会う日を楽しみにしています。校長先生の一番の願い「たった一つの命」を大切に、よい年を迎えましょう。



寄贈をしていただきました

浅羽北シニアクラブの方々から、雑巾を寄贈していただきました。衛生管理や清掃活動等で有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

